令和７年度大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区一覧《東日本》

《R7.７月現在》

秋田県（ねぎ、りんご）
＜全国農業協同組合連合会秋田県本部 等が参画＞

（ねぎ）
・高品質なねぎ生産のための病害抑制に関する栽培方法の実証。
・低コストかつ輸送中の品質劣化を防ぐ輸送方法の検証
（りんご）
・台湾の残留農薬規制に対応した病害虫防除体系の実証
・収穫後および貯蔵期間中の果実における残留農薬分析

やまがた尾花沢・東根・天童フルーツ輸出協議会
「百笑苦楽分」（さくらんぼ、もも、ラフランス、スイカ）
＜株式会社あさあけ農場、株式会社 FARMER'S、水戸農園 他が参画＞

【実証：山形県】
・完熟果実の急速冷凍による品質を保持しつつ海外に届ける冷凍供給体制の検証と統一生産基準・出荷ルールの策定
・鮮度保持型パッケージの開発し、物流・販路の最適化を通じた輸出体制構築

北信濃輸出促進協議会（ぶどう、もも、りんご、すもも）
＜中野市役所、浅沼果樹園、三井農園、川島農園合同会社、合同会社ＳＯＷ、株式会社eff、日本ギルド株式会社株式会社、WAJIN TRADING 他が参画＞

【実証：長野県】
・輸出相手国・地域の残留農薬基準に対応するため、残留農薬分析を行い、使用農薬と防除回数の見直しを実施
・輸送中の鮮度を維持するための保水キャップの開発テスト輸送を実施

長野県（市田柿、ぶどう）
＜長野県農産物等輸出事業者協議会、みなみ信州農業協同組合、八十二Link Nagano株式会社が参画＞

【実証：長野県】
・輸出に係る市田柿の生産拡大を図るため、品目転換による園地整備を実施
・産地からインドネシアまでの一貫した新たな輸出物流体制構築に向けた輸送試験

新篠津村輸出協議会（米（GABA米・精米））
＜新篠津村農業協同組合,北海道,新篠津村,株式会社インターリージョン,学校法人酪農学園（酪農学園大学）が参画＞

【実証：北海道】
・品種転換による高たんぱく米の計画的栽培
・フランス輸出用特別栽培米への転換
・GABA米通年供給にむけた冷凍保管の実証

宮城県JA農産物輸出促進協議会（さつまいも）
＜全国農業協同組合連合会宮城県本部 等が参画＞

【実証：宮城県】
・台湾向け基準に則した残留農薬検査による輸出検討
・輸出計画数量を販売先と早期に共有するため、QRコードによる入出庫・在庫管理システムを導入
・製品ロス率低減のため、台湾での保管販売を検証

富山干柿出荷組合連合会（かき加工品）
＜（農）富山干柿出荷組合連合会、（農）富山あんぽ柿共同加工センター、福光農業協同組合、なんと農業協同組合、南砺市、富山県が参画＞

【実証：富山県】
・冷凍輸出に対応した乾燥・加工技術の検討、実証の実施
・干し柿・あんぽ柿の冷凍・冷蔵輸送、販売による検証

アスノヤマト輸出促進協議会（ぶどう、キウイ）
（2品目共通）（株)日本農業
（ぶどう）（株）日本農業、ジャパンフルーツ(株)、REACT(株)
（キウイ）（株）日本農業、ジャパンフルーツ(株)、Orchard＆Technology**（株）**が参画＞

（ぶどう）【実証：栃木県】
・スマート農業機械の自動走行を活用した取組
・台湾向け産地リレー輸出（航空便）の実証

（キウイ）【実証：香川県、群馬県】
・ストリンギング技術の確立と標準化
・新品種（自社育種・海外新品種）の育成による香川県外での適応性の強化
・品質維持のため、予冷・追熟設備の検討及び港までの低温物流の確立

（ ：認定フラッグシップ輸出産地が含まれているもの）

令和７年度大規模輸出産地モデル形成等支援事業採択地区一覧《西日本》

《R7.7月現在》

九州みかん輸出拡大協議会（うんしゅうみかん、ゆず、きんかん、不知火、せとか、天草）

＜JAみなみ筑後柑橘部会、JAふくおか八女かんきつ部会、(株)石橋果樹園、長崎でじま青果(株)、JAながさき県央、（株)ファームオリンピア、(株)ネイバーフッド、(株)ファーマインド、九州農産物通商(株)が参画＞

【実証：福岡県他】
・タイ向けゆず、きんかん等の輸出用園地整備及び栽培
・ベトナム向けみかんの輸出用園地及び選果施設の追加登録
・抗菌鮮度保持剤を活用した傷み軽減対策の実施

福岡・大玉冷凍イチゴ輸出促進協議会（イチゴ）

＜武下農園株式会社、株式会社terra、株式会社Connect Lab、株式会社WhomLab等が参画＞

【実証：福岡県】
- EUおよび東南アジア輸出を見据えた高品質いちごの大規模産地形成に向けた冷凍輸送実証とマニュアル化
- 輸送効率の最適化、ブランド価値の向上、現地での販促効果の最大化を目的としたパッケージの開発および運用

岡山県果実生産出荷安定協議会（ぶどう、桃）

＜全国農業協同組合連合会岡山県本部 等が参画＞

【実証：岡山県】
・タイ輸出向けの選果施設の体制整備に向けた検討
・長期安定供給や選定品種の販路拡大を目的とした輸出試験及び品質等の調査

3色いちご輸出拡大協議会（いちご）

＜JAみなみ筑後、JA粕屋、ベジフルファーム（株）、JA糸島、岸川農園、ハヤシダファーム、鐘ヶ江農園、溝口農園、渋田いちご園、むらおか農園、平川いちご農園、長崎でじま青果(株)、(株)イチゴラス、(株)アグリテックプラス、遊士屋(株)、(株)精農舎、九州農産物通商(株)が参画＞

【実証：福岡県他】
・フィリピン向けの輸出用園地整備及び栽培
・新たな輸出先国（フィリピン等）の開拓
・抗菌鮮度保持剤及び荷傷み軽減資材の利用拡大

おかやま白桃輸出促進協議会（岡山白桃及び岡山白桃の加工品）

＜A TRA-DE株式会社、MOMONA Peach Farm他生産者9名、おかやまおひさまファーム株式会社、株式会社誠和、佐川急便株式会社が参画＞

【実証：岡山県】
・Y字型栽培の導入による生産力向上及び省力化の両立
・運送会社による効率的な国内輸送、海外輸送ルートを検討

岡山備中ブドウ輸出産地育成協議会（ぶどう、ぶどう加工品）

＜濱農産、中島農園、備中美味しいブドウ研究会等が参画＞

【実証：岡山県】
・長期輸送リスク及び低コスト栽培（露地・無袋栽培）に対応。可能な品種の検討
・輸送コストの低減及び輸送時間短縮のため、地元空港を活用した輸出ルートの確立

長崎県（イチゴ、温州ミカン、牛肉、タイ、ヒラメ、スズキ、マアジ、ブリ、 ヒラマサ、マグロ）

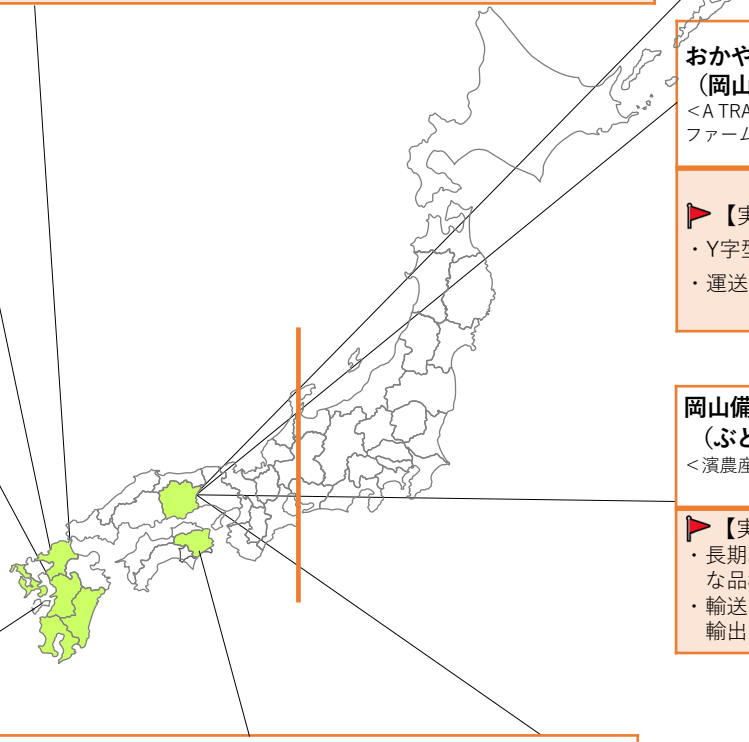
＜全国農業協同組合連合会長崎県本部、長崎西彼農業協同組合、長崎県央農業協同組合、島原雲仙農業協同組合 等が参画＞

（いちご）
・各時期で最適とされる収穫時の着色歩合を検討し、品質劣化防止に向けた新たな収穫体系を確立

（温州ミカン）
・ベトナム向け残留農薬基準に対応した防除暦の転換やトラップ調査、輸入国植物検疫検査官の査察等への対応

（牛肉）
・輸送コスト低減のため、保冷資材を組み合わせた安価な混載方法を検証

（水産物）
・現地ニーズに対応した製品の加工体制の構築及び鮮度・品質保持の検証



徳島いちご輸出産地形成協議会（いちご）

＜ヴェリタス（株）及び生産者、（株）世界市場、Nippon ICHIBA Taiwan Company Ltd.、徳島県等が参画＞

【実証：徳島県】
・農薬使用量削減のため、IPM防除の推進
・JGAP/ASIAGAPの取得
・最適な予冷環境のため、予冷と植物検疫対策に適した収穫資材の導入

総社市ぶどうスマート輸出促進協議会（ぶどう）

＜A TRA-DE株式会社、総社市、秦果樹生産出荷組合、JA晴れの国岡山、株式会社誠和、佐川急便株

【実証：岡山県】
・スマート農業技術を導入したデータに基づく栽培管理を実施
・長距離・長期間の輸送を可能とするため、ぶどう専用コンテナ及び鮮度保持袋を活用

（ ：認定フラッグシップ輸出産地が含まれているもの）